

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		小学校健康管理事業費・中学校健康管理事業費【児童生徒の定期健康診断事業】											
予算科目	款	10	教育費	項	23	小学校費 中学校費	目	4	学校保健衛生費	事業番号	1		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)												
担当部署・課長名		教育総務			課			学務			係	課長名	斎藤 謙二郎
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)		31			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）							
	市立小・中学校の児童・生徒					市立小・中学校の児童・生徒数							
	→												
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）							
2 指標の推移	疾病等を早期発見できるとともに、保健上必要な助言を受けることができる。					受診率							
	→												
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
	学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則に基づき、児童・生徒の健康保持・増進を図るため、定期健康診断を実施した。					健康診断受診児童・生徒数							
3 経費	③					→							
4 環境変化等			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標					
	対象指標	①の数値	人	6,562	6,556	6,478							
	成果指標	②の数値	%	99.0	99.0	99.2							
	目 標	②の目標値	%	100.0	100	100							
		目標値設定の考え方 全ての児童・生徒が健康診断を受診することが、この事業の目的である。											
	活動指標	③の数値	人	6,510	6,490	6,427							
	財源	事業費（実績）		円	6,089,219	5,880,224	5,941,219	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
		一般財源		円	6,089,219	5,880,224	5,941,219						
		特定財源（国・都・他）		円	0	0	0						
（うち受益者負担）		円	0	0	0								
所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2	0.2								
所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0								
職員人件費(再任用以外)		円	1,648,800	1,662,000	1,676,000								
職員人件費(再任用)	円	0	0	0									
事業費+人件費		円	7,738,019	7,542,224	7,617,219								
（1）開始年度	不明 年度												
	（2）環境の変化												
アレルギーと診断される児童・生徒数が増加している。													

事業名称	小学校健康管理事業費・中学校健康管理事業費【児童生徒の定期健康診断事業】			
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係 課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
特になし。		
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	特になし。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	特になし。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
成果水準を満たしているため、今後も現状通り事業を継続していくことが重要である。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
施策名： 学校教育の充実		
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	【取組内容】	
	特になし。	
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
特になし。		